

7月19日（日曜日）

タイトル	内容説明	インストラクター
<p>救急・総診・がん・高齢者医療につながる運動器診療 —整形外科の広がりとシーネ固定ワークショップ—</p>	<p>運動器診療は、骨折や捻挫などの救急外傷、総合診療、高齢者医療、がん診療とも深く関わる領域です。本セミナーでは、整形外科外傷診療の実際に加え、高齢者の骨折治療、がん骨転移などに整形外科と内科、総合診療がどのように関わるかを紹介します。後半では、シーネによる外固定を実際に体験し、救急外来で役立つ基本手技を学びます。</p>	<p>坂 なつみ 帝京大学 整形外科</p>
<p>病歴聴取の基本</p>	<p>病歴聴取は決して「ただ話を聞くこと」ではありません。臨床経過の把握と問題点を抽出する上で最も基本的かつ重要なプロセスで、十分なトレーニングが必要なテーマです。今回はNeurologyに限らず全領域で重要になる病歴聴取の基本を学びます。</p>	<p>杉田 陽一郎 東京ベイ・浦安市川 医療センター 神経内科</p>
<p>世界で活躍する医師になる！！</p>	<p>オリジナルの術式20個、手術器具開発なども行い、世界中で手術をしている医者が、皆さんに科の選び方から気道緊急まで、お伝えします！</p>	<p>大村 和弘 東京慈恵会医科大学 耳鼻咽喉科</p>
<p>心臓外科 思ったより近い！！ ～外科を楽しむためのコツ～</p>	<p>脳筋、体力オバケ、ブラック勤務……外科を表す言葉はいろいろあります。でも、本当にそれだけでしょうか。外科離れなんてもったいない。外科を楽しく、前向きに続けるにはコツがあります。今回は、その原則と、早い段階からできる準備についてお伝えします。</p>	<p>阿部 真一郎 千葉県循環器病センター 心臓血管外科</p>
<p>GIMから研究者へ — 臨床研修が育てたResearch Mind</p>	<p>GIM研修で出会った疑問が、なぜ研究につながったのか。臨床研修の経験を出発点として、基礎医学研究者へ至るまでのキャリアパスを紹介します。</p>	<p>石垣 和慶 慶應義塾大学 微生物学・免疫学</p>
<p>Beyond the Blood Pressure — あんなショック、こんなショック —</p>	<p>ショックの初期対応は、輸液だけではありません。また、血圧低下だけがショックのサインとも限りません。救急外来では、一見同じように見えるショックでも、その正体によって最初に行うべき対応が大きく異なります。ショックの基本を振り返りながら、知っておくべき「最初の一手」について一緒に考えてみましょう。</p>	<p>坂本 壮 総合病院国保旭中央病院 救急救命科</p>